

第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年12月

応募者名：三次市建設部都市整備課

事業の名称：都市計画道路上原願万地線整備事業

実施都市名：広島県三次市

事業目的

三次市の中心市街地である十日市地区と畠敷町を結ぶ本路線は、本市の南北軸を形成する幹線道路であり、中国自動車道三次IC及び平成25年3月30日供用の中国横断道尾道松江線三次東JCT・ICへのアクセス道路です。しかし、これまで現道は一級河川馬洗川を横断する現況幅員5.5mの橋梁（熊野橋）しかなく、付加車線や自転車歩行者道も未整備であることから、通勤・通学時間帯には歩行者や自転車、自動車が混在し非常に危険な状況であり安全な通行空間の確保が望まれていました。

このため、新たな路線を整備することで、三次ICアクセスの改善と三次東JCT・ICから中心市街地へのアクセス向上を図ることで広域活動を支援するとともに、歩行者・自転車の安全の確保を図ることを目的としています。

事業概要

事業名称:都市計画道路 上原願万地線整備工事

路線名:都市計画道路 上原願万地線

事業箇所:広島県三次市

事業延長:L=800m

幅員:W=21m

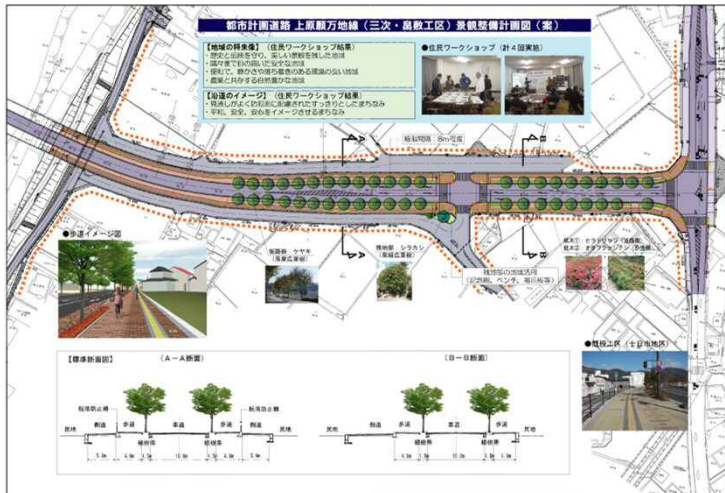
事業費:46億円

事業実施期間:平成10年～平成24年

本事業は、平成10年に事業認可を受け事業を開始し、測量・設計や用地取得を経て、平成15年度に十日市地区から道路整備工事に着手しました。平成21年度からは橋梁工事に着手し、平成24年7月末に一連の工事すべてが完成しました。

都市計画道路上原願万地線の整備効果アピール資料

住民ワークショップ・景観整備計画案



整備状況

(畠敷町側)



夜間照明



願橋（ねがいばし）



○事業概要

事業名：都市計画道路上原願万地線整備工事
路線名：都市計画道路上原願万地線
事業箇所：広島県三次市
事業延長：L=800m
幅員：W=21m
総事業費：46億円
事業期間：平成10年から平成24年

○交通量調査結果

【十日市地区⇄畠敷町】

供用前 7,000台(12時間)
供用後 8,900台(12時間)

「整備効果」

・新たな路線として、両側4mの歩道を整備したことで、安全な歩行空間が確保された。また、本路線の周辺は美しい景観が見られる自然豊かな河川周辺でありながら歩道が整備されてない等の理由で歩く人をあまり見ることはなかったが、整備後はウォーキングやランニングをする人を多く見かけるようになった。

・本路線の橋梁は、景観に配慮しつつランドマークとなりえる構造形式としてエクストラードード橋を採用し、橋梁につながる路線は、住民ワークショップで合意した整備案(人にやさしく自然と調和した街なみ整備)を多く採用していることから、周りの自然と調和した道路空間となっている。

「その他の事業効果」

・本路線の整備により、中心市街地へのアクセスが向上したため、十日市地区と畠敷町間の交通量が整備前と比べ3割近く増加し、中心市街地の活性化につながっている。また、今まで通行が困難だった大型車両の行き来が容易となったことから新規店舗が出来始めるなど新たなまちづくりが始まっている。

事業前写真

平成16年10月撮影



通勤時間帯の熊野橋付近の様子

平成17年6月撮影



橋梁(願橋)整備前の様子

事業後写真

平成25年12月撮影



平成24年6月撮影



平成24年8月撮影

